

開かれた学校づくりをめざして

I 研究の内容

1 研究の方法

(1) 研究の柱

- ・学校と地域・保護者との関わり方・連携の方策について
- ・学校・子どもたちが地域の人々や保護者とのつながりを生み出す実践
- ・研究の成果の共有（情報の発信も視野に入れながら）

(2) 各部員が、各校の実践（子どもたちの変容の様子、問題点、悩み等）を報告し、それについて情報交換・協議する。夏季学習会では講師を招き、「地域ぐるみの防災対策」について学習会を開く。常任講師の先生方に、常時ご助言・ご指導をいただく。

(3) 保護者・地域との提携について授業実践を通して研究を深める。

2 実践発表と授業研究

〔実践発表〕

(1) 勝沼中学校「地域に根差した農業体験学習」

- ・農業体験学習，職場体験学習，ぶどうまつりの参加 など

(2) 松里中学校「工場見学に行ってみよう」生活科

- ・学区内にある工場見学を通して

(3) 八幡小学校「保護者・地域住民を巻き込んだ取組」

- ・図書ボランティア，セーフティーパトロール，保・小・中の連携など

(4) 勝沼小学校「保護者・地域住民との提携」

- ・学校支援ボランティア，総合的な学習「勝沼の歴史」など

(5) 井尻小学校「地域と連携した教育活動」

- ・ふれあい祭り，総合的な学習「ころがきづくり」，全校ころがき集会など

(6) 塩山南小学校「保護者・地域と提携した教育活動」

- ・甲州市人材バンクの活用，社会科「農家の仕事」など

(7) 山梨南中学校「有価物回収事業の取組」

- ・21回目を迎えた有価物回収

〔夏季学習会〕

「地域ぐるみの防災対策」 講師：山梨市総務課防災担当

〔授業研究〕

(1) 6年生道徳「郷土を愛する心」 飯室美華先生（大和小）

郷土の良さや文化の素晴らしさを知り、自分の郷土を愛する心情を育てることをねらいとする授業だった。ゲストティーチャーの視点から大和町について話をしていただいたり、保護者アンケートから地域の良さについて様々な視点で考える場面を取り入れた授業実践だった。

(2) 3年生社会科「地域の年中行事を詳しく知ろう」加々美教子先生（笛川小）

地域の年中行事として「どんど焼き」をテーマに、学区内の地域においてそれぞれやり方が違うことを知ったり、祭りの意義や課題などゲストティーチャーや保護者から話していただいた。子どもたちが自分の地域について深く考え、地域を誇りに思うことができた。そして互いに尊重し合う姿が見られた。

II 成果と課題

1 成果として

- 各校の実践発表を通して、様々な連携のあり方について情報交換をし、それぞれの成果と課題について理解を深めることができた。自校の実践に結びつけたり生かしたりすることにつながった。
- 夏季学習会では、講師を招き「地域ぐるみの防災対策」について考えることができ、学校教育の現場にも使えるものが多くあった。
- 地域のことを教材に取り上げることで、子どもたちにとって興味を持つことができるとともに、地域の方や保護者に対しても、学校で授業実践していることについて、知ってもらえる良い機会になった。

2 課題として

- 地域の教育力を継続的に取り入れていけるような取り組み・手だてを考えていきたい。
- テーマ「開かれた学校づくり」から「地域とともにある学校づくり」に変更し、より効果的な、より連携を図った視点で研究協議を進めていきたい。

III 成果物

○学習指導案・学習ワークシート

○各校の実践レポート

（部長 立川 慶樹）